



ふれあい 放水路

2004
(平成16年)
第128号
11月



▲出雲農林高校のイチヨウ

イチヨウ

立冬を過ぎ、辺りは晩秋の様相を帯びてきました。紅葉も目に鮮やかなこの時期、学校の校庭や街角で色付いているイチヨウの黄葉は一際目を引きます。

イチヨウは、大きいもので高さがおよそ二十メートルから三十メートル、周囲が十メートルもの巨木に成長し、非常に生命力の強い木で、二億五千万年もの間、環境の変化に耐え今日まで生き残った「生きた化石」とも言われる貴重な植物です。みなさんご存じでしたか。

葉は扇型で独特の形をしていて、イチヨウという名前の由来は、この葉の形を鴨の足跡に見立てたとする中国の鴨脚（ヤーチャオ）が変化してイチヨウになったといわれています。また、色づく前の葉には薬効があり、海外を中心に医薬品として用いられています。果実のぎんなんですが、食用としてはもちろん、昔は咳止めや痰のきれをよくするための薬として用いられたようです。

大型建設機械の 分解組立輸送について

～ブルドーザ編～

放水路開削部の工事では、大型の建設機械による土砂、岩の掘削・運搬作業が続けられています。これらの建設機械は、工事の進捗に伴い各現場に輸送されます。輸送の際にはこの大型機械を分解して各部品ごとに輸送し、現地で組立を行っています。

今回は、大型建設機械のうち、整地・掘削・盛土・運搬等に使用するブルドーザの分解組立輸送の状況について紹介します。



大型ブルドーザ

搬入状況

大型建設機械の輸送にあたっては、公道を利用して運搬する場合、車両制限令において幅2.5m以下、長さ12m以下、高さ3.8m以下、車両総重量20t以下の制限値重量があるため、制限値を超えるものについては特殊車両として道路法に基づいた許可を取り、分解してトレーラーなどで運搬しています。



本体の輸送



履帯の輸送



キャビン(運転席)の輸送



ブレード(排土板)の輸送

組立状況

輸送した機械の部品は、大型クレーンなどを利用して現地で組立ます。大型の建設機械は、あらかじめ分解・組立が容易に行えるよう製作されています。



本体と履帯の取付



ブレード(排土板)の取付



キャビン(運転席)の取付



完成!!

ふれあい放水路

通信

神戸マインランドまつり開催

神戸川と国道一八四号で結ばれたまち(出

雲市・頓原町・赤来町・佐田町・大社町)が、協

力してまちづくりや地域振興を図るため、平成六年度から毎年開催している神戸川ラインサミットと、合同で行われている神戸川ラインランドまつりが十月十七日、大社町で開催されました。また、これに併せて十六、十七日の両日、地元の大社産業祭と出雲阿国門前市も開催されました。

大社町勢溜(せいりゅう)の鳥居周辺に設置されたメインステージでは、ラインサミットの式典が行われ、もちまきや太鼓演奏の他、大社町勢溜から旧大社駅までの通りにはフリーマーケットや特産品市コーナー、ちびっこ広場などが設けられ、大人から子供までが楽しめる催しが満載で、終日賑わっていました。国土交通省のブースではパネル展示とラジコンカーを使ってのお菓子すくいゲームを行い、家族連れなど多くの方々にお越しいただきました。



▲メインステージでのもちまき



▲国土交通省ブース

放水路一斉清掃

「大事にしたいね きれいな流れ」

十月二十二日、斐伊川放水路工事区域の一斉清掃を行いました。

これは、放水路施工業者で構成する斐伊川放水路安全協議会と国土交通省職員が、日頃工事の際、近隣住民の方々にご協力頂いていることに感謝の意を表すとともに、ゴミ等をなくすことで不法投棄等のない環境整備を目指して毎年行っているものです。

この日は、約一七〇人が三班に分かれ、半分大橋周辺と馬木新大橋周辺、半分大橋南側の国道一八四号周辺の清掃にあたり、ゴミ拾いや草刈り、高欄やガードレール、標識類の雑巾がけなどを行いました。

また、清掃箇所周辺には「クリーンアップ大作戦」の旗を立てて環境美化のPRも行いました。



▲国道184号周辺の清掃状況



斐伊川放水路の工事実施状況 (平成16年10月以降の発注工事)

工事名	業者名	工期
斐伊川放水路 高松築堤他工事	(株) 中筋組	自 H16年11月16日 至 H17年3月31日
斐伊川放水路 大津地区法面工事	日本基礎技術(株)	自 H16年11月23日 至 H17年2月28日

国土交通省中国地方整備局 出雲河川事務所

〒693-0023 出雲市塩治有原町5丁目1番地

☎(0853)21-1850

メールアドレス E-mail:izumo@info.cgr.mlit.go.jp

ホームページ http://www.cgr.mlit.go.jp/izumo/homepage.htm

本誌に関するご意見やご要望などがございましたらお寄せください。

問い合わせ先：ふれあい放水路担当
放水路工事室 事業対策官